

市街地循環バス「ら・くるっと」
ルート選定による長所・短所

資料5

ルート	運行時間	長所（メリット）	短所（デメリット）
外・内周り	・外周り：80分 ・内周り：70分	<p>① 外周りルートは、現行のルートとほぼ同じで今まで利用していた方がそのまま乗りやすいルートとなっている。</p> <p>② 内周りルートは、新見駅を中心とした市内中心部の回遊性を向上させることができる。</p> <p>③ 基本的に、乗り換えの必要がない。</p>	<p>① 例えば、市役所→石蟹に向かいたい人は必ず外周りルートに乗車しなければならなくなる。</p> <p>② 1運行あたりにかかる時間が長いので、乗降区間によっては乗車時間が長くなる。</p>
北・南周り	・北周り：45分 ・南周り：60分 ※ただし、 新見駅-横見-新見駅 ：30分	<p>① 運行時間が短いので、便数の増加が見込める。 (6.5便→8便など)</p> <p>② 運行時間が短いので、パターンダイヤを編成することが可能。 【パターンダイヤとは】各停留所を決まった時間に発着するようにダイヤを編成したもの。</p>	<p>① 新見駅以北の停留所から新見駅以南の停留所に向かう場合には、必ず新見駅で乗り換えを行う必要が生じる。</p> <p>② 運行時間が北周りと南周りで異なるので新見駅で接続する場合、新見駅以北の停留所で乗車した人は、新見駅で15～30分待たないと南周りのバスに接続することができない。</p> <p>③ バスの接続を考えた時刻表を設定した場合、新見駅で接続する列車からの乗り換え後の待ち時間が大幅に増加する。 ⇒鉄道利用者の大幅な利便性の低下</p>